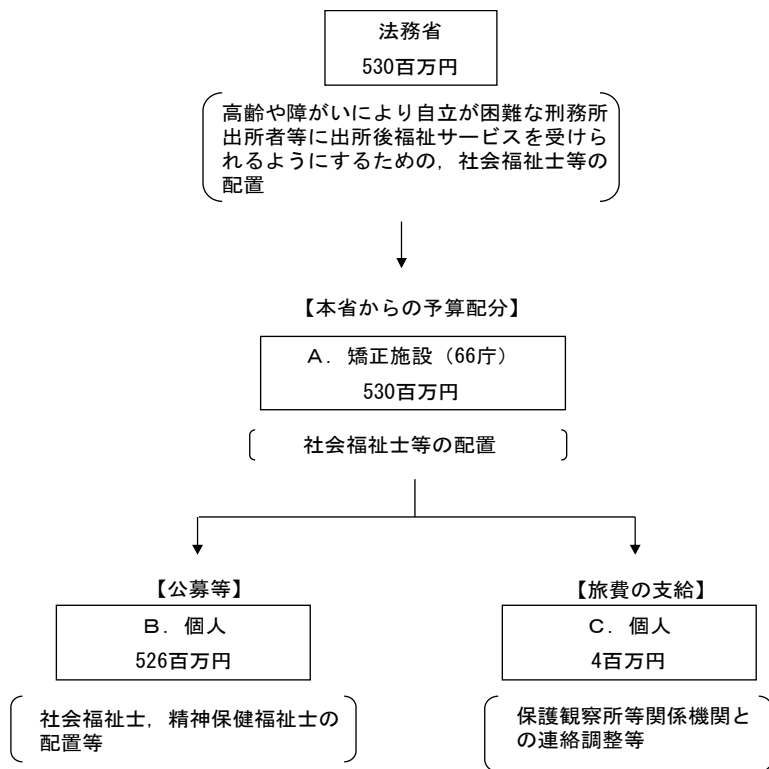


平成27年度行政事業レビューシート (法務省)

事業名	地域生活定着支援の推進			担当部局庁	矯正局			作成責任者	
事業開始年度	平成21年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課			総務課長 大橋 哲	
会計区分	一般会計			政策・施策名	矯正処遇の適正な実施 II-5-(2)矯正施設における収容環境の維持及び適正な処遇の実施				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律等			関係する計画、 通知等	犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008 「世界一安全な日本」創造戦略				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	刑務所出所後の自立した生活の困難な高齢受刑者や障がい有する受刑者が、出所後直ちに福祉サービスを受けられるようにするため、刑務所に社会福祉士・精神保健福祉士を配置し、保護観察所や地域生活定着支援センターと連携して、出所後の自立した生活基盤を確保することにより再犯防止を目的としている。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	高齢受刑者や身体等に障がい有する受刑者は、出所後、生活基盤が安定していないため短期間のうちに生活苦に陥り、再び犯罪を犯すおそれが高いことから、出所後直ちに福祉の支援を受けられるように、刑務所に社会福祉士の資格を有する者を配置し、①支援が必要な受刑者の選定、②当該受刑者の福祉ニーズの把握、③当該受刑者が行う福祉サービスの申請手続に対する支援等を行う。								
実施方法	直接実施								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	394	387	450	486	491		
		補正予算	0	0	257	0			
		前年度から繰越し	0	0	0	162			
		翌年度へ繰越し	0	0	▲162	0			
		予備費等	0	0	0	0			
		計	394	387	545	648	491		
	執行額	385	377	530					
	執行率(%)	98%	97%	97%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック	
定量的な 成果目標 の設定が 困難な 場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績					
	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標 成果実績は、収容人員(対象者)の変動や面接の必要性等により実績件数が変動することから、成果目標と実績を比べて事業の有効性を検証することができないため、定量的な目標(いつまでにどの程度といった目標)の設定は困難である。			福祉による支援を必要とする刑務所出所者等の福祉的ニーズの把握、保護観察所等との連絡調整等の地域生活定着支援を実施する。 各年度において、福祉による支援を必要とする刑務所出所者等の福祉的ニーズの把握、保護観察所等との連絡調整等の地域生活定着支援を実施した。					
事業の妥当性 を検証する ための代替 的達成目標 及び実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	刑務所出所者等の地域生活定着支援を毎年度、前年度より充実したものとす。	社会福祉士等による面接、調整等実施人員(年次)	実績	件	3,559	3,711	3,691		
			目標値	件	3,995	3,599	3,711	3,691	
			達成度	%	89.1%	103.1%	99.5%		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	福祉による支援を必要とする刑務所出所者等の福祉的ニーズの把握、保護観察所等との連絡調整等の地域生活定着支援を実施している。	活動実績	施設	64	64	66			
		当初見込み	施設	64	64	66	69		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	実績額/年間調整等実施人員(円/人)			単位当たり コスト	円	108,020	101,558	143,658	-
				計算式	千円/人	384,443/3,559	376,881/3,711	530,241/3,691	-
平成 27・ 28 年度 予算 内訳 (単位: 百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	2	3	社会復帰支援プログラム講師の拡大に伴う経費の増					
	収容業務旅費	8	9	社会復帰支援プログラム開発会議参加に伴う経費の増					
	護送旅費	6	6	社会福祉士の配置拡大に伴う経費の増					
	被収容者旅費	1	1						
	収容諸費	469	472						
	計	486	491						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	受刑者等の地域生活定着支援であり、その実施主体は国にあり、出所者等の再犯防止に繋がる地域生活定着支援は広く国民の利益となる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	社会福祉士等の有資格者を配置して地域定着支援を実施している。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	受刑者等の地域生活定着支援であり、その実施主体は国にあり、出所者等の再犯防止に繋がる地域生活定着支援は広く国民の利益となる。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	受刑者等の地域生活定着支援に繋がる社会福祉士等の雇用や職員の研修実施に必要な教材等の整備、関係機関等の連絡調整に必要な経費の支出である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	同上	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	同上	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	高齢・障がい等により、特に自立が困難な刑務所等出所者に対し、出所後に福祉サービス等を受けられるよう、特別調整等の実施件数を伸ばしている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	同上	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	同上	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	刑務所に配置する社会福祉士、精神保健福祉士については、ハローワーク等を通じて公募を行った上、各施設において非常勤職員として採用し、高齢受刑者や障がい等を有する刑務所出所者等が出所後直ちに福祉サービスを受けられるように、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第26条による都道府県知事への通報、保護観察所や地域生活定着支援センター(全都道府県に設置済)等関係機関との特別調整対象者等に係る連絡調整、療育手帳や身体障害者手帳等の福祉サービスの申請などの地域生活定着支援事業を適正に実施しており、円滑な社会復帰、再犯防止に寄与している。 平成23年度からは、地域生活定着センターが全都道府県に設置されたことから、社会福祉士の配置の拡充を行った。			
	改善の方向性	高齢受刑者や障がい等を有する刑務所出所者等の円滑な社会復帰や再犯防止に寄与するよう引き続き、出所後直ちに福祉サービス等を受けられる体制の充実を図る。			
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外である。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努められたい。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り					
備考					
平成24年度においては、一般会計予算のほか復興特会予算も計上。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0039	平成23年度	0036	平成24年度	0039
平成25年度	0026	平成26年度	0021		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.府中刑務所			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
予算配分	府中刑務所	29			
計		29	計		0
B.個人			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
賃金	社会福祉士の配置	3			
計		3	計		0
C.個人			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	府中刑務所	各会計機関への予算配分	29	-	-
2	札幌刑務所	各会計機関への予算配分	18	-	-
3	横浜刑務所	各会計機関への予算配分	15	-	-
4	大阪刑務所	各会計機関への予算配分	13	-	-
5	広島刑務所	各会計機関への予算配分	12	-	-
6	宮城刑務所	各会計機関への予算配分	12	-	-
7	月形刑務所	各会計機関への予算配分	12	-	-
8	福岡刑務所	各会計機関への予算配分	11	-	-
9	名古屋刑務所	各会計機関への予算配分	11	-	-
10	神戸刑務所	各会計機関への予算配分	11	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	-	-
2	個人B	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	-	-
3	個人C	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	-	-
4	個人D	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	-	-
5	個人E	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	-	-
6	個人F	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	-	-
7	個人G	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	-	-
8	個人H	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	-	-
9	個人I	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	-	-
10	個人J	被収容者への福祉的支援を実施するための社会福祉士の配置	3	-	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	被収容者への福祉的支援のための保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
2	個人B	被収容者への福祉的支援のための保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
3	個人C	被収容者への福祉的支援のための保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
4	個人D	被収容者への福祉的支援のための保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
5	個人E	被収容者への福祉的支援のための保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
6	個人F	被収容者への福祉的支援のための保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
7	個人G	被収容者への福祉的支援のための保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
8	個人H	被収容者への福祉的支援のための保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
9	個人I	被収容者への福祉的支援のための保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-
10	個人J	被収容者への福祉的支援のための保護観察等関係機関との連絡調整	0.1	-	-

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック